

産業機器事業

概要

THKは、これまで工作機械や半導体製造装置などの産業用機械に不可欠なLMガイドをはじめとした製品群を供給することにより、事業規模を拡大してきました。加えて、電動アクチュエータやそれら機械要素部品を組み合わせたユニット製品も手掛けており、産業用機械の高精度化や高剛性化、高速化に貢献するとともに、生産ラインの自動化ニーズにお応えしています。

事業環境と取り組み

産業機器事業では、これまでにグローバルで販売体制の強化と生産体制の構築を進めるとともに、マーケティング機能を強化するなど、トップライン拡大に向けた準備を着実に進めてきました。販売体制の強化の取り組みとしては、2016年3月に豊田支店内にTHK中部テクニカルサポートを開設し

ました。技術スタッフが常駐していることに加え、双腕ロボット「NEXTAGE®」の実演をご覧いただけるショールームや、お客様の機械装置の仕様に合致したテストを行うことができる試験場を併設しています。他の拠点でも順次このような施設を開設し、技術支援・テスト・販売をワンストップで提供できる体制を整備していきます。生産体制の構築では、2016年7月に中国において6番目の工場となるTHK常州精工が本格稼働を開始しました。中国国内におけるTHKの生産拠点の設備の製造やメンテナンスに加え、お客様向けに部品だけでなく周辺機器も含めた一つの仕組みとして、設計・製造を提案していきます。マーケティング機能の強化では、マーケティングツールの導入・活用により、潜在顧客・市場の見える化を図っています。これらの活動により見えてきた幅広い市場とは、工作機械や半導体製造装置などの装置メーカーが生産するオーダーメイドの専用機や、機械装置を実際に使用のお客様の内製設備、自動化関連設備、補修品などであり、これらは量産機と比較して高い利益率が期待できる市場です。今後はそのような幅広い市場を着実に刈り取るべく、各種施策に取り組んでいきます。これらのトップライン拡大に向けた施策に加えて、生産工程のロボット化、自動化やIoT技術の活用によるグローバル生産の見える化などにより生産性を向上させ、ボトムライン強化にも努めていきます。

産業機器事業 (その他)

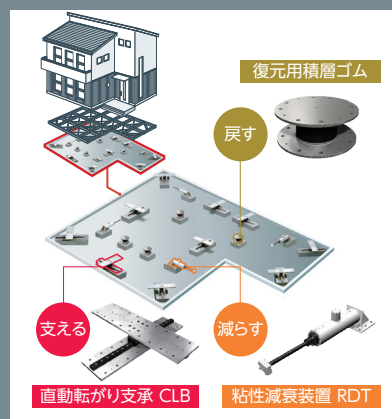
新規分野における取り組み

THKは、産業機器分野で培ってきた直動システムのコア技術と蓄積されたノウハウを活かし、新規分野への展開として消費財に近い分野の開拓に努めています。THK製品の採用は様々な分野に広がってきており、これらの膨大な可能性を顕在化させるべく、その活動を積極化させていきます。

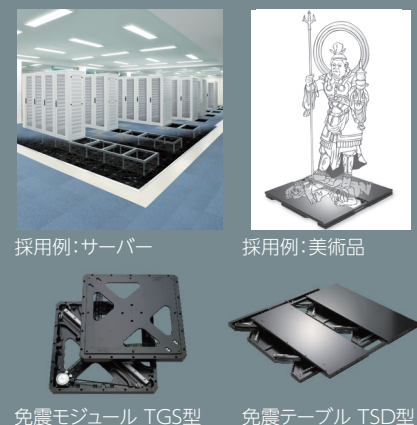
免震・制震装置

免震・制震装置分野では、直動システムのコア技術を応用することにより、高層ビルや戸建建築、社寺建築など様々な建築物向けの免震・制震装置から、サーバーや各種製造装置向けの機器免震装置まで様々な製品を供給し、地震による被害の縮小に貢献しています。

建物免震装置

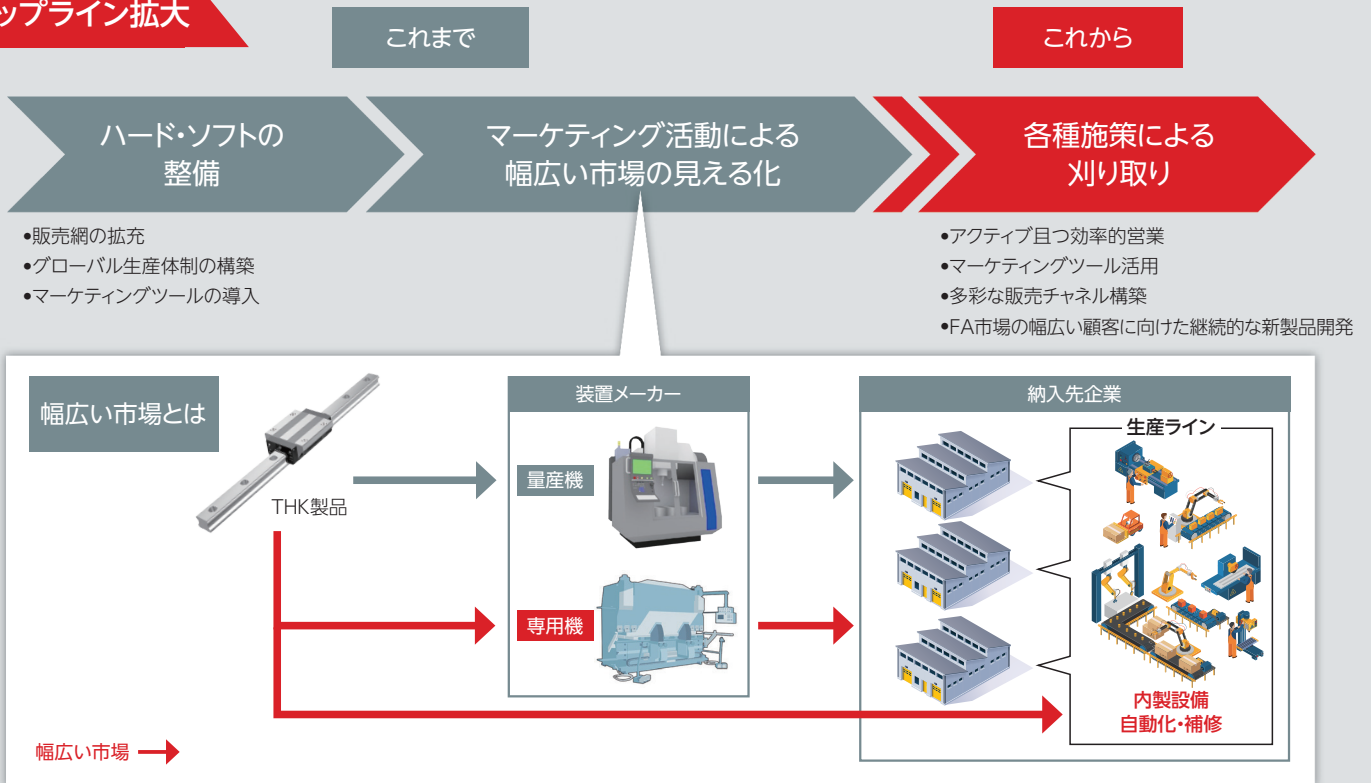


機器免震装置



産業機器事業における取り組み

トップライン拡大



ボトムライン強化

1. ロボット化・自動化による生産性向上
2. グローバル生産の見える化
3. 各種費用の効率化
4. 適正販売価格戦略

- 生産性向上による労務費比率の抑制
- 固定費の効率化による変動費比率の抑制
- 限界利益率の向上

医療機器

医療機器分野では、高い信頼性と品質が求められる各種分析装置や計測装置を中心にLMガイドや電動アクチュエータなどの採用が拡大しています。さらに、手術支援ロボットや歩行アシストロボットなどの次世代の医療機器での採用も拡大しています。



ロボット

ロボット分野では、生産ラインの自動化に貢献する産業用ロボットから消費者に近い分野での使用が見込まれる次世代ロボットまで、幅広い分野でロボットに最適な要素部品を開発、販売しています。



航空機

航空機分野では、操縦かんやリクライニングシート、テーブル引き出し機構、コックピットドアなど、内装関連を中心にTHK製品の滑らかな動きを活かした新たなアプリケーションとしての採用が拡大しています。



再生可能エネルギー

再生可能エネルギー分野では、機構部品としての製品の開発と拡販に取り組んでいます。風力発電機では低トルクシャフトユニットの量産販売を推進しており、水流発電機では地域に密着して試験導入を実施しています。



輸送機器事業

概要

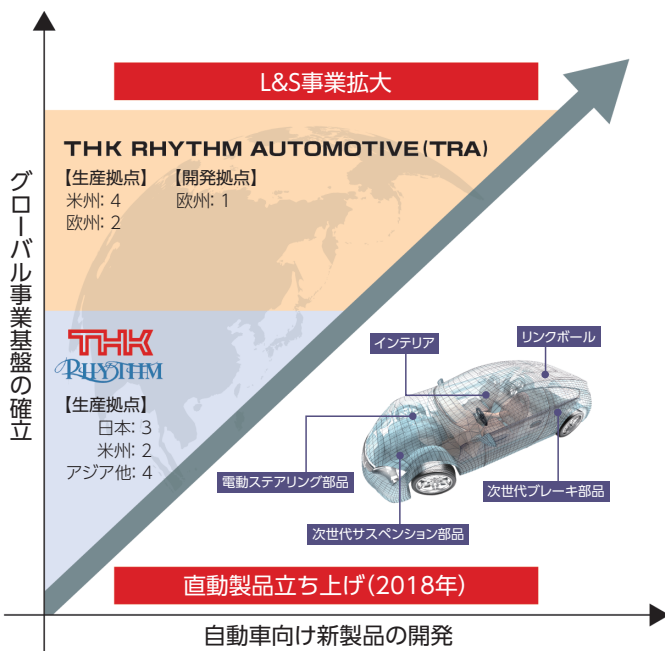
輸送機器事業では、自動車の基本性能を支える自動車要素部品の開発・提供に取り組む中、世界の自動車市場の変化に迅速に対応し、存在感のあるサプライヤーになることを目指しています。THKは、創業時からリンクボールを主力製品として事業を展開する中、2007年にはリズム社（現THKリズム）を買収しました。さらに、2015年にはTRW Automotive Inc.より自動車の足回り部品事業であるL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受け、THK RHYTHM AUTOMOTIVE (TRA)としてグループ化し、販売、生産、開発においてグローバルな事業基盤を確立しました。さらに、L&S事業のほか、次世代のステアリングやブレー

キ、サスペンションなど様々な機構における直動関連製品の採用拡大に取り組んでいます。

事業環境と取り組み

輸送機器事業では、L&S事業の拡大と直動関連製品の自動車への採用拡大に引き続き取り組んでいきます。日本を含むアジアを中心としたTHK・THKリズムと欧米を中心とするTRAのお互いの商圏を活用することによりシナジーを発揮し、L&S事業のさらなる拡大を図っていきます。さらに、環境保全の観点から自動車の電動化が進み、自動車部品にも高いエネルギー効率が求められる中、THKの直動コア技術を応用した自動車向けの直動新製品の開発と提案に取り組んでいきます。THK、THKリズム、TRAにおけるこれらトップライン拡大に向けたシナジーに加え、工場の相互利用や製品統合の推進、地域ごとの共同購買の強化などによるボトムライン強化に向けたシナジーの発現にも努めていきます。加えて、開発面においてもTRAのドイツの開発拠点が加わったことにより、素材や製造方法などの研究開発を輸送機器に限らずグループ全体で共有し、相互に強化を図っていきます。

輸送機器事業における取り組み



輸送機器事業のシナジー

